

熊本市 感染症発生動向調査 速報

現在の流行状況

手足口病の報告が警報レベルです！

熊本市における第26週(6月22日～6月28日)の定点医療機関あたりの手足口病患者報告数は、5.13人(定点数16ヶ所、患者報告数82人)で、警報基準値(定点医療機関あたり5.00人)を超えました。手足口病は、夏場に流行することが多く、これから更に増加する可能性があります。また、原因となるウイルスにはいくつかの型があり、何度もかかってしまうことも珍しくありませんので、予防対策をしっかりと行いましょう。

【特徴】

手足口病は、5歳までの子ども、特に2歳以下の乳幼児を中心に流行する急性ウイルス性感染症で、口の中、手のひら、足の裏や 足の甲などに2～3mmの水疱性の発疹が出ます。

【感染予防のポイント】

ウイルスは、患者の鼻水や唾液、便などに存在し、回復しても数週間は、便中にウイルスが排出されます。一般的な予防は手洗いをしっかりとすることと、排泄物を適切に処理することです。外出後、食事の前やトイレの後は、流水と石鹸で十分に手を洗い、タオルの共用はしないようにしましょう。

期 間		平成27年 第25週		平成27年 第26週	
		6/15～6/21		6/22～6/28	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		3	0.12	2	0.08
RSウイルス感染症		1	0.06	1	0.06
咽頭結膜熱(プール熱)		2	0.13	4	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		19	1.19	20	1.25
感染性胃腸炎		101	6.31	94	5.88
水痘(みずぼうそう)		2	0.13	3	0.19
手足口病		63	3.94	82	5.13
伝染性紅斑(りんご病)		3	0.19	4	0.25
突発性発しん		15	0.94	18	1.13
百日咳		0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ		16	1.00	23	1.44
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		1	0.06	2	0.13
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		17	3.40	31	6.20
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		1	0.20	1	0.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00